

Zoom + Glexaを活用した
遠隔授業のパターン応用編
～教員の方々へ～

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部
遠隔授業プロジェクトチーム

遠隔授業の利点

～小林先生のFDでのプレゼンより～

Glexaを利用することで、

- 達成度（伸びしろ）の可視化ができる
- 出欠確認が楽にできる
- 学生からの質問が増える
- 印刷が不要となる
- 学生の満足度が高い

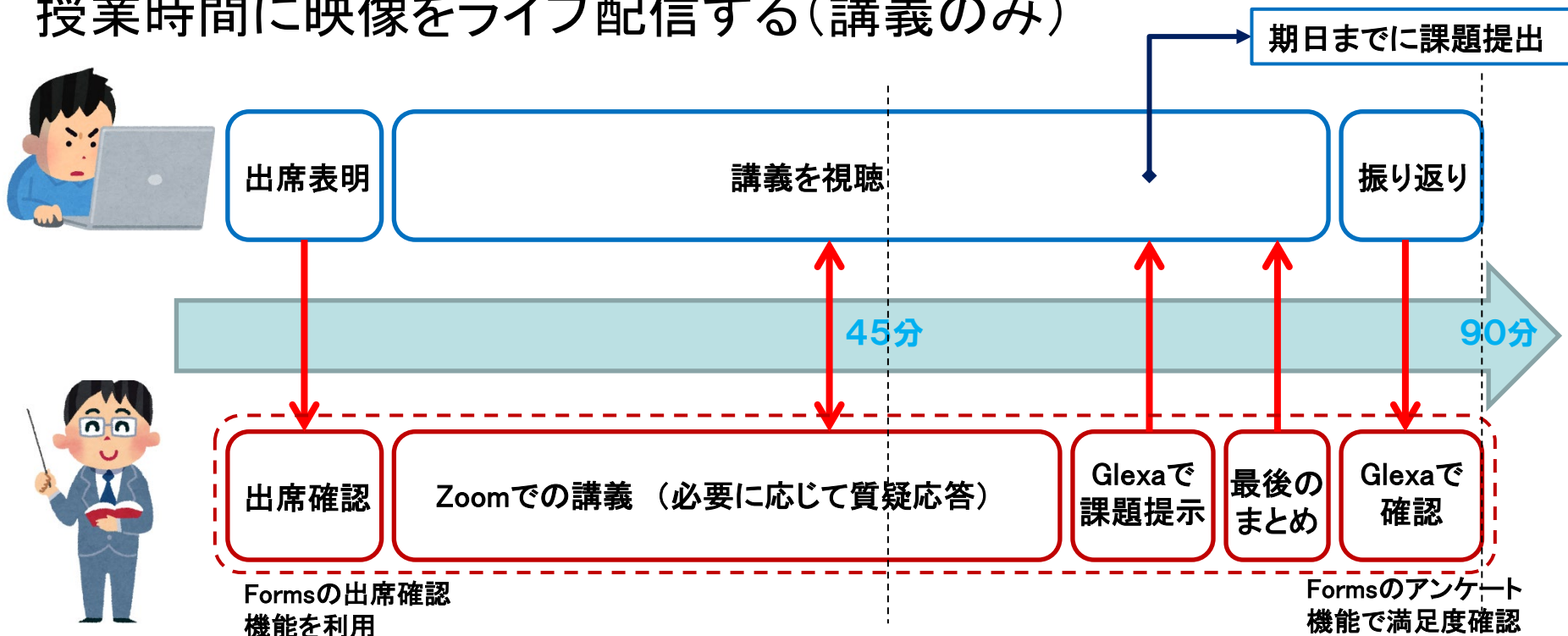
ただしZoomとGlexaの併用は、ある程度の習熟度が
必要となるため、「遠隔授業概要編」を基本に授業
設計をお願いいたします。

遠隔授業4つのパターン

~小林先生のFDでのプレゼンより~

パターン1 リアルタイム授業配信

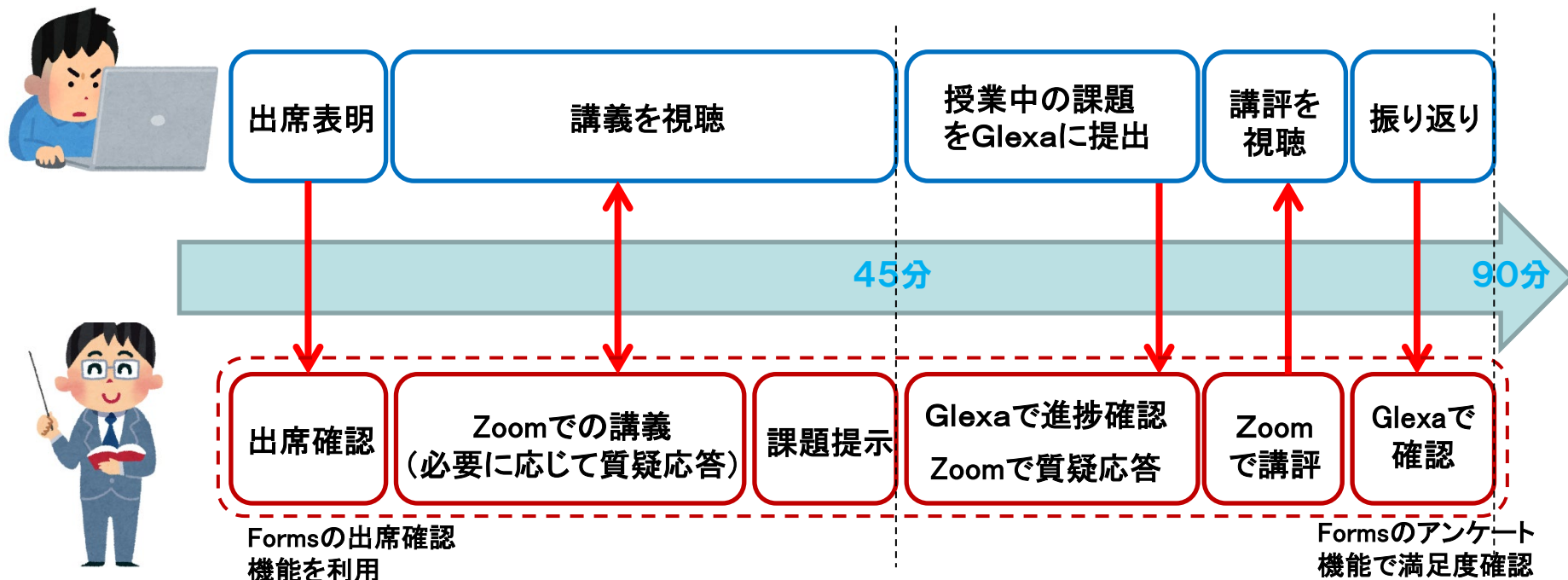
授業時間に映像をライブ配信する(講義のみ)



- チャット機能などを効果的に活用して質疑応答し、一方的な講義にならないなど、学生を飽きさせないような工夫をする
- 出席は少人数であればZoom上でとることは可能、大規模クラスはGlexaの機能を利用

パターン2 リアルタイム授業配信＋授業中に課題

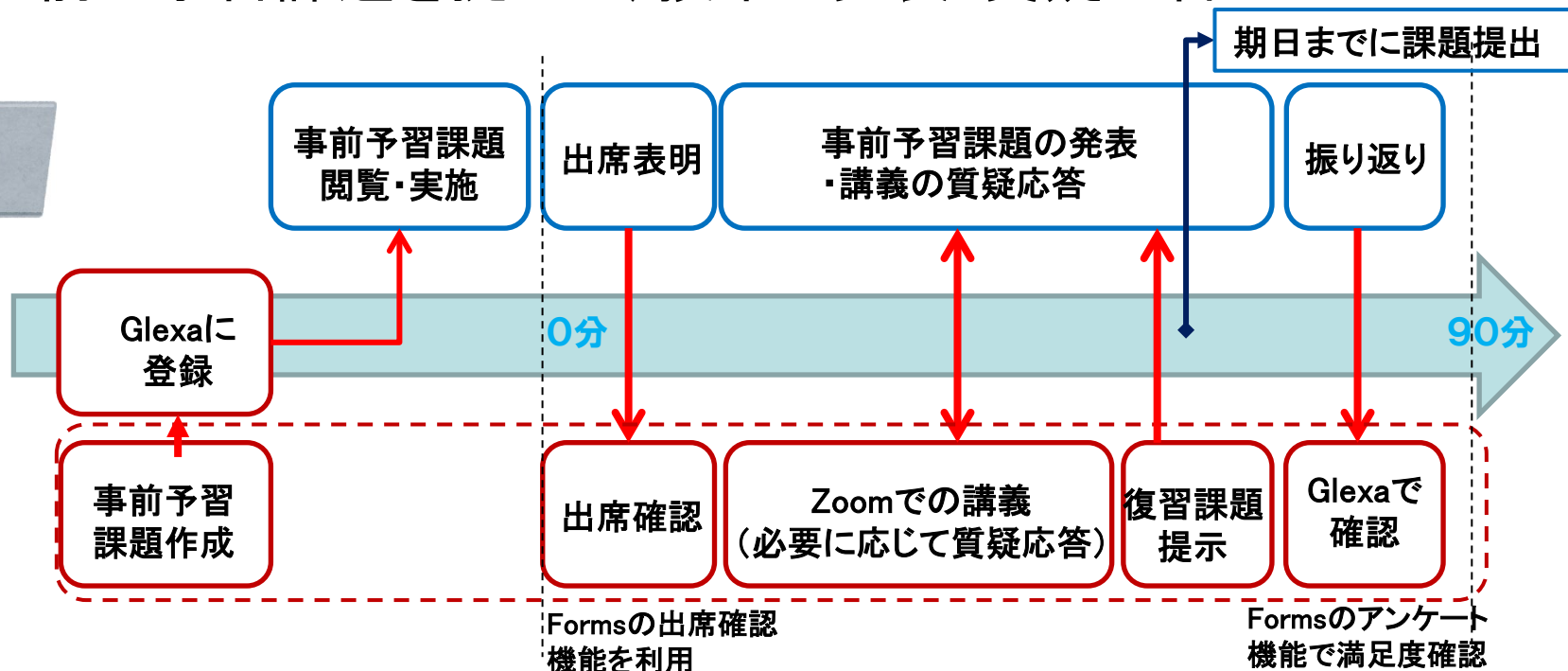
授業時間に映像をライブ配信し授業中に個人作業



- 授業中の課題をする時間はZoomを切断し講評時に改めてつなぐことも可能。ただし質疑応答に対応できるような工夫が必要となる

パターン3 リアルタイム授業配信＋予習・復習課題の提示

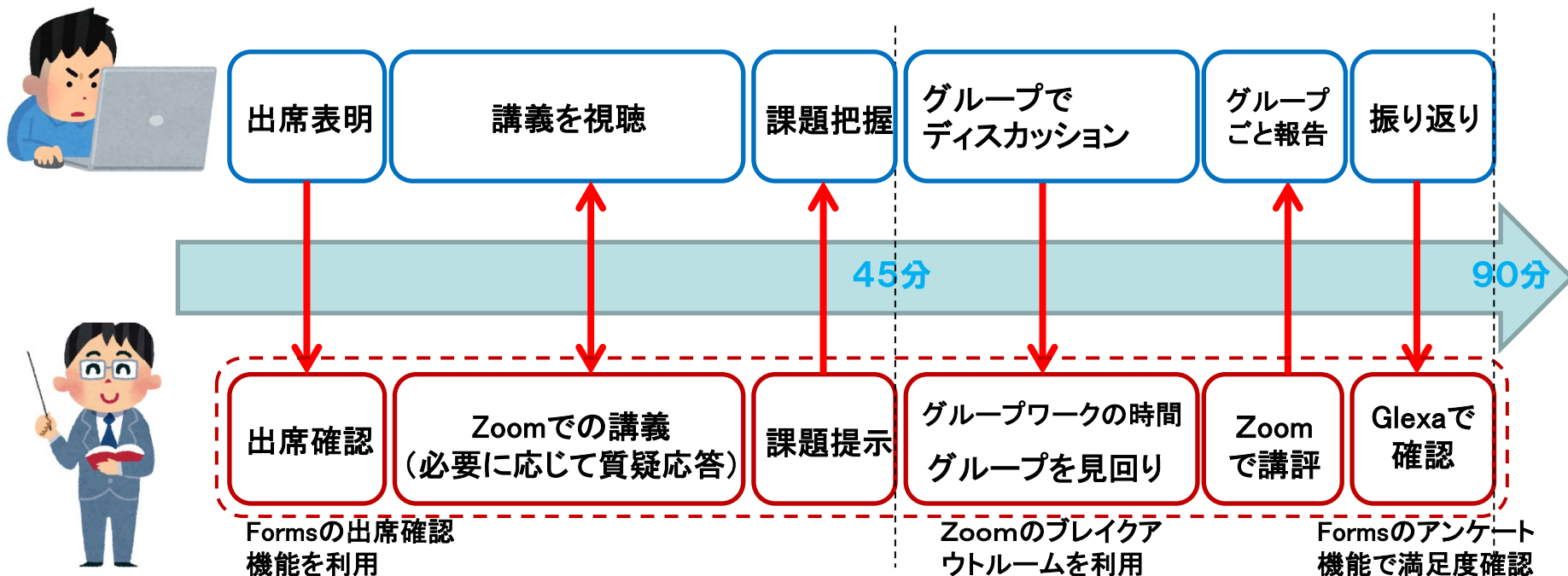
講義の前に予習課題を提示し、授業で発表・質疑応答



- 授業資料、事前予習課題はあらかじめGlexaにアップしておく

パターン4 リアルタイム授業配信＋グループワーク

授業時間に映像をライブ配信し授業中にグループワーク実施



- グループワークで利用するZoomのブレイクアウトルームは教員の習熟が必要(練習が必要)
- 課題のディスカッションでグループワークの成果を提出し、全員で共有すれば、提出課題の確認を授業時間外にしないで済む